

県立広島大学 三原キャンパス [平成24年度重点研究事業] 成果発表会プログラム

平成25年9月10日(火)

会場

三原C:4101大講義室(4号館) →  広島C:1239 講義室 庄原C:2302講義室

| 発表時間 (質疑応答を含む) | 区分 | 順 番 | 研究計画代表教員 | | | 研究課題名 | 発表者 |
|-------------------------------|--------------|--------|---|-----|--------|---|---------------|
| | | | 所属 | 職名 | 氏名 | | |
| 13:00~13:15 | 開催挨拶・進行説明 | | (開会挨拶: 研究推進委員会. 武藤委員長, 司会進行: 経営企画室. 仲野室長) | | | | |
| 13:15~13:30 | 確かな教育推進研究 | 1 | 保健福祉・看護 | 助教 | 三宅 由希子 | 事例に学ぶ車いすシーティング教材の開発 | 三宅 |
| 13:30~13:45 | 確かな教育推進研究 | 2 | 保健福祉・人間福祉 | 教授 | 三原 博光 | 日独保健医療福祉専門家養成教育カリキュラムの比較研究 —社会福祉教育を中心に— | 三原 |
| 13:45~14:00 | 確かな教育推進研究 | 3 | 保健福祉・人間福祉 | 准教授 | 細羽 竜也 | 精神保健福祉現場実習の教育プログラムのミニマム・スタンダードに関する研究 ~円滑で最適な実習教育を実施するための実習カリキュラムの検討~ | 細羽 |
| 14:00~14:15 | 学内共同プロジェクト研究 | 4 | 名誉教授 | 教授 | 堂本 時夫 | 広島県産レモンの成分・機能分析と健康への効果に関する研究 | 武藤/加藤 |
| 14:15~14:30 | 学内共同プロジェクト研究 | 5 | 保健福祉・コミュ障害 | 教授 | 矢守 麻奈 | 摂食嚥下障害・認知機能障害に対する最適なリハビリテーションおよびマネジメントの探究とその普及のためのプロジェクト | 矢守 |
| 14:30~14:45 | 地域課題解決研究 | 6 | 保健福祉・作業療法 | 助教 | 山西 葉子 | 三原市における特別支援教育体制整備推進についての研究 | 山西 |
| 14:45~15:00 | 地域課題解決研究 | 7 | 保健福祉・人間福祉 | 准教授 | 田中 聡子 | 三原市における効果的な多職種協働の地域ネットワークに関する研究 —地域に根ざした三原市モデルの構築に向けて— | 田中 |
| 15:00~15:15 | 地域課題解決研究 | 8 | 保健福祉・人間福祉 | 講師 | 手島 洋 | 住民の地域福祉活動の活性化に向けた活動指針とプログラムの研究開発 | 手島 |
| 15:15~15:30 | 科研費獲得支援 | 9 | 保健福祉・理学療法 | 講師 | 長谷川 正哉 | 足底感覚を利用した運動学習を支援する機能靴下の開発と効果検証 | |
| 15:30~15:45 | 科研費獲得支援 | 10 | 保健福祉・理学療法 | 助教 | 積山 和加子 | 有酸素運動と温熱療法の併用による骨格筋肥大 | 積山 |
| 15:45~16:00 | 科研費獲得支援 | 11 | 保健福祉・作業療法 | 教授 | 川原田 淳 | 無意識生体計測技術を組み入れた失語症バーチャル訓練システムの開発 | 川原田 |
| 16:00~16:15 | 科研費獲得支援 | 12 | 保健福祉・人間福祉 | 准教授 | 澤田 千恵 | 精神科薬物療法が抱える問題に対する精神保健福祉士が果たす役割と機能に関する研究 | 澤田 |
| 16:15~16:30 | 科研費獲得支援 | 13 | 保健福祉・人間福祉 | 准教授 | 田中 聡子 | 貧困の世代間連鎖の予防に向けた包括的支援モデルの開発 | 田中 |
| 16:30~16:45 | 科研費獲得支援 | 14 | 保健福祉・人間福祉 | 講師 | 松宮 透高 | ACTプログラムの応用による児童虐待事例支援システム開発に関する基盤研究 | 松宮 |
| 16:45~17:00 | 科研費獲得支援 | 15 | 保健福祉・人間福祉 | 講師 | 吉田 倫子 | 姫路城「平成の大修理」を事例とした障害者福祉に配慮した文化財保護のあり方 | 吉田 |
| ◎ 17:00~17:25 (学部戦略PIは25分) | 学部戦略プロジェクト | 16 | 保健福祉学部 | 教授 | 今泉 敏 | 加齢効果の縦断的研究に基づく超高齢社会に適した保健福祉システムの構築 | 今泉, 原田, 細川 |

閉会